

「地域脱炭素化促進事業における促進区域設定」への意見募集結果について（案）

下記の日程において「地域脱炭素化促進事業における促進区域設定」への意見募集を行いましたので、その結果を公表します。

- 1 募集期間：令和7年12月4日（木曜日）～令和7年12月24日（水曜日）17時00分まで
- 2 意見提出者数：8名 12件
- 3 原案に対する修正の有無：無
- 4 ご意見の概要及び市の考え方

	ご意見の概要	市の考え方
1	<p>「子どもが育つライフステージ」を脱炭素でアップグレードするというコンセプトのもと、脱炭素まちづくりを推進することは大変良い取り組みだと思います。</p> <p>促進区域の選定に関して、ライフステージの「仕事」における拠点として長田野工業団地が選定された理由も、市域のCO₂排出量の約1/5を占めるエリアということで適切だと思います。</p> <p>弊社としても、サステナビリティ/ESG活動の推進として、「環境」は重要なテーマであり、会社としても積極的に活動を推進しています。とはいえ、再エネ設備の導入を強制したり、導入しないことによる罰則を設けたりするような制度であると企業経営にも影響しますので、そのあたりは考慮していただきたいと思います。</p>	<p>「ライフステージ×子育て×脱炭素」をコンセプトに、脱炭素をきっかけにして、「well-being なまち」の実現に向けて推進していきます。</p> <p>促進区域の設定目的は、地域の合意形成を図りつつ、環境に適正に配慮し、地域に貢献する、地域共生型の再エネを推進することであり、設定した地域において、再エネ設備の導入を強制したり、導入しないことによる罰則を設けるような制度ではありません。</p>

	ご意見の概要	市の考え方
2	<p>令和6年までにあった計画案の中で、夜久野町のメガソーラー計画が無くなっているところは安心しましたが、私は福知山市の脱炭素計画そのものに反対です。この計画が本当に福知山市民のためになるのか疑問に思います。高市政権もソーラー計画は見直しすると言ってますし、アメリカは離脱、最大排出国中国も問題あり、欧州も見直しをている現状で福知山市の計画が、将来的に負の遺産として残るのではないかと心配になります。ソーラー発電は発電効率が悪い上に環境問題・廃棄の問題・中国製パネルのウイグル人権問題・再エネ賦課金（国民負担）の問題・人体への影響など様々な問題があります。今回のパブリックコメントは促進地域設定についてですが、私の意見は厳しい意見で申し訳ないですが、福知山市のこの計画自体の見直し・廃案を希望してます。</p>	<p>本市が令和5年3月に策定した「福知山市エネルギー・環境基本計画」は、地球温暖化対策の推進に関する法律（以下、「温対法」という。）第19条に基づく「福知山市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」として位置付けております。温対法では市町村は「地球温暖化対策計画を勘案し、その区域の自然的社会的条件に応じて、温室効果ガスの排出の量の削減等のための総合的かつ計画的な施策を策定し、及び実施するように努めるものとする」と定められています。さらに温対法では、地方公共団体が中心となって、円滑な合意形成を図りながら、適正に環境に配慮し、地域に貢献する再エネ事業の導入拡大を図るため、地域脱炭素化促進事業に関する事項を定めるよう努めることとされており、その一つが促進区域の設定です。国の方針、法律から市町村に努力義務が課されているものであり、本市の未来に対する責任に向き合い、行政だけでなく、市民・事業者の皆さんとともに持続可能な福知山市をつくっていくための計画として、原案のとおり推進していきます。</p> <p>なお、令和9年度に本計画は中間見直しを予定しておりますので、社会情勢を考慮し、課題にも向き合いながら、計画の検討、推進を行っていきます。</p>

	ご意見の概要	市の考え方
3-1	<p>1. 公共施設・学校での「生きた環境指標」としてのモリンガ栽培の導入 学校や公共施設の敷地内（三段池公園周辺等の日照条件の良い場所）において、モリンガ を教材として栽培することを提案します。</p> <p>子供たちが成長測定や CO2 吸収量の計算を行うことで、脱炭素を自分事として捉える「生きた環境教育」の場を創出していただきたいです。</p> <p>モリンガとはインド原産の樹木で 3 年前より福知山で栽培をしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圧倒的な脱炭素能力： 一般的な樹木の約 20 倍の CO2 を吸収すると言われており、脱炭素社会の実現に向けた強力な助っ人となります。 ・高い栄養価： 90 種類以上の栄養素を含み、地球上で最も栄養価の高い植物の一つとされています。 ・成長の速さ： 日照条件が良ければ 1 年で数メートル伸びるため、子供たちが短期間で環境への貢献を実感できるのが特徴です。 	<p>いただいたご意見につきましては、促進区域設定と直接的に関わる内容ではないので、可能な範囲で回答させていただきます。</p> <p>モリンガの特徴から脱炭素に貢献する樹木であることは環境教育に活用する上で重要なポイントであると考えます。一方で、モリンガがもともと日本国内で植生する樹木ではないことから在来種への影響等を考慮することも必要と考えます。</p>

	ご意見の概要	市の考え方
3-2	<p>2.「食育」を通じた地域コミュニティの活性化 収穫したモリ ンガを料理し、みんなで食べる「食育体験」を組み込んでくだ さい</p> <p>高い栄養価を誇るモリンガを調理・実食することで、環境を守 ることが自分たちの健康な体作りにも繋がることを学んでほ しいと思います。</p> <p>地元の子供たちや住民と一緒に食卓を囲むことで、地域共生型 の新しいコミュニティの形を作ることができます。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、促進区域設定と直接的に関わ る内容ではないですが、可能な範囲で回答をさせていただきます。</p> <p>令和6年に設立した福知山市持続可能なエネルギー・環境共創プ ラットフォームという組織があり、その中で環境人材の育成や環境 保全活動に取り組む分科会を設けております。このプラットフォーム に参加いただき、ご提案をいただけると幸いです。</p>
3-3	<p>3. バイオ炭化による「炭素固定」の資源循環サイクルの確立 栽 培・収穫を終えた植物を「バイオ炭」に加工し、市内の農地に 還元する仕組みを構築してください。</p> <p>これにより、大気中のCO₂を半永久的に土壌へ固定する「福知 山モデル」の脱炭素サイクルを確立し、完全循環型の社会を目 指してほしいです。</p> <p>このモリンガ炭を利用することで、他にはないブランド化した 農産物を栽培することができるのではないかと思います。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、促進区域設定と直接的に関わ る内容ではないので、可能な範囲で回答させていただきます。</p> <p>バイオ炭につきましても、令和6年に設立したプラットフォーム の農業分野の分科会で活用の検討を進めております。2.と同様に ご提案をいただけますと幸いです。</p>

	ご意見の概要	市の考え方
3-4	<p>【意見の理由（背景）】 福知山市の「エネルギー・環境基本計画」を推進するためには、次世代を担う子供たちが、環境問題を「難しく、遠いもの」ではなく「楽しく、美味しい体験」として捉えることが 不可欠です。</p> <p>モリングは、CO2 削減（脱炭素）、健康（食育）、資源循環（バイオ炭）を一つの流れで学べる最高の教材です。</p> <p>私自身、福知山におけるモリング事業の第一人者として、これまで培った知見を活かし、ぜひ子供たちと一緒にこのプロジェクトに取り組みたいと考えております。</p> <p>促進区域をただの設備設置場所にするのではなく、子供たちの心と体を育む拠点にしていきたいと願い、本意見を提出いたします。</p>	<p>地域脱炭素化促進事業においては、地域脱炭素化促進施設の整備と併せて環境教育を努力項目のひとつとしており、重要な視点であると認識しております。</p> <p>次世代を担う子供たちが、環境問題を「難しく、遠いもの」ではなく「楽しく、美味しい体験」として捉えることは環境人材育成のために重要な視点と考えます。</p>
4	<p>福知山市の六人部や夜久野で営農型太陽光の検討をしています。</p> <p>営農型の観点から農地への再エネ導入を後押しできる制度になっていくことを希望します。</p> <p>上記 2 つのエリアについては、営農型でぜひ頑張っていきたいので、今回設定される促進区域ではないですが、後押しをお願いしたいです。</p>	<p>営農型太陽光発電は、2050 年カーボンニュートラルに向けた再エネ導入促進のために、京都府においても導入が重要とされる設備であり、本市でも農業振興に資する手法のひとつであると考えております。今後、促進区域を拡大する中で設定候補の一つとして検討をしていきます。</p>

	ご意見の概要	市の考え方
5	<p>最近、田舎に行けば行くほど農業をやっていたけど、高齢になって農業をできなくなった人が多くて、そういう畑を太陽光の業者が買うということが増えているように感じます。畑の持ち主は管理をしなくてよくなってよいけれど、太陽光ができて雑草が生い茂って管理がされていないようなところも多くある。周りの人や次の世代が迷惑になるような太陽光パネルは防いでいってほしい。草刈りができないなら、草が生えにくいようにする工夫もあると思うので、太陽光をするにしても、そういうところを気にすることができる事業者が購入して、継続してやっていけるようにしていってほしい。</p> <p>また太陽光パネルの光害などもあり、周囲への影響や環境への配慮が足りていない太陽光パネルも多く感じます。太陽光が儲かる時期にとりあえずつけたんだと思います。脱炭素のためには、再エネが必要で発電所を作らなければいけないということもわかりますが、周りへの影響や配慮もしっかり考えてほしい。</p> <p>様々なものが循環して、関係する全員が幸せになれるよう、共に幸せを生きるを目指した太陽光パネルの導入になるように進めてください。</p>	<p>福知山市は、脱炭素の取組みを通して、生活の質の向上や事業活動の活性化など、地域がより発展し幸福度の高いまちづくりにを目指しています。</p> <p>いただいたご意見は地域と共生していない再エネ事業の特徴的な事例であると認識しております。今回の促進区域設定は、そうした課題の解決を目指すためのものであり、地域との合意形成を図ったうえで、地域に貢献する事業としていくことを目的としています。</p>

	ご意見の概要	市の考え方
6	<p>エリアを絞った事により、実現性が高いと思われます。各所の想定される環境への対策も十分に考えられている。工業団地の225kW設置候補地は具体的に計画地があるのでしょうか。</p>	<p>工業団地の225kWについては、企業交流プラザと長田野公園での導入を計画しております。</p>
7-1	<p>(1) 設定予定4か所について 全体として今日的課題に配慮の行き届いた、優れた設定だと思います。</p> <p>○つつじが丘団地 市民の身近なところでこの事業が行われることを歓迎します。現在、メガソーラーの問題点がクローズアップされているところから、次は「住宅の屋根」の出番です。化合物系太陽電池やシリコン系太陽電池につぐ、「ペロブスカイト太陽電池」の採用など試みてみたいものです。</p> <p>○三段池公園 スポーツ関連施設に着目されています。残念ながらあまりなじみのないところなので、十分なコメントができません。ただ、スポーツといえば対語として文化を連想します。当市では厚生会館に代わる「文化ホール」の建設が検討されています。次の機会になると思いますが、この「文化ホール」にはしかるべき太陽電池を設置するよう願っています。</p>	<p>今回設定を考えている4つのエリアは、人生の各ライフステージの主要な拠点になると考えております。再生可能エネルギーの導入が各エリアのアップグレードに繋がり、施設を利用いただく方にとってメリットになることを狙っております。</p> <p>ペロブスカイト太陽電池については、本市でも注目している技術です。まだ商用化されておらず、実証段階の技術であることから、今後は導入可能な時期や導入量について確認し、検討を進めてまいります。</p> <p>令和8年度以降に設定予定のエリアについても言及いただきありがとうございます。促進区域の設定拡大と併せて、再生可能エネルギー発電設備の導入が必要な場所についても検討を進めていきます。</p>

	ご意見の概要	市の考え方
7-1	<p>○福知山公立大学 当市のインテリジェンスの集まる場所でこの事業が行われることの意義は大きい。これから直ちに実社会に出て行く若い人たちの眼前で、脱炭素社会の展望を具体的に提示することが出来る良い機会だと考えます。現在、世界の各地で若い世代が、地球温暖化をもたらした既存の政府などに対し、彼ら世代の生存権が侵害されたとして訴訟を起こしています。その主張はもっともなことで、この度の事業はいささかでも次世代の願いにこたえるものだと思います。</p> <p>○長田野工業団地 当市の温室効果ガス排出量の5分の1が長田野工業団地より排出されています。当然その排出削減は第一義的には個々の企業が行うべき責務であります。同時にその促進、あるいは契機になるものを行政が取り組むことは重要です。排出量削減に直接に寄与する点ではいささか物足りなさを感じますが、これを出発点だと考えるべきでしょう。さらに今回設定のエリアの中に、長田野の工業団地だけでなく、三和町の工業団地「アネックス三和」が含まれていることを歓迎します。三和町に住む者にとって雇用や環境など多くの点で関心の高いエリアです。ここでどのような地球温暖化防止に役立つ活動ができるか、楽しみにしています。</p>	<p>前頁のとおり</p>

	ご意見の概要	市の考え方
7-2	<p>(2) その他</p> <p>○社会福祉法人福知山学園</p> <p>近年この施設は大きな施設に増築された大規模養護施設です。今回は「公共の施設」のイメージで4つのエリア、施設が選定されていますので、このパブリックコメントの埒外だとは心得ていますが、次回以降の候補として考えてはいかがでしょうか。</p> <p>このほか同様の特養、共同作業所などの社会的弱者を支えている施設に太陽電池を設置するという切り口です。</p> <p>○「住宅の屋根」</p> <p>つつじが丘団地のところで触れましたが、「住宅の屋根」だけでなく「住宅の壁」も出番が来るようです。御存じのように東京都では新築に家には太陽光発電施設をつけるよう義務付けました。当市でもこれを検討すべき時期だと考えます。</p>	<p>今回設定する 4 つのエリアから今後拡大を図っていきたいと考えておりますので、関連施設、周辺エリアとして促進区域を拡大する際の検討候補としてご意見頂戴いたします。</p>

	ご意見の概要	市の考え方
8	<p>京都議定書に始まりパリ協定で世界的潮流になった脱炭素に向けた再エネ活用に対しては賛同です。</p> <p>また再エネ方法が様々ある中で山に囲まれた福知山盆地では太陽光発電が適していると思います。</p> <p>本市でも設けられようとしている促進区域設定について、次のとおり、コメントします。</p> <p>1 本市の代表的な区域設定であり、脱炭素促進に関する発信力があると思います。</p> <p>2 スポーツ拠点については、屋根のないスペースに設置すれば、雨除けや日陰にもなり選手や観客にも喜ばれると思います。マラソンのスタートゴール地点でもあり、見栄え良くできればよいと思います。ただ、夜間には太陽光は発電せず、曇天も発電力は弱くなると思います。夜間営業のある体育館や武道館は効果が減るはずです。</p> <p>3 長田野工業団地ではグローバル企業もあり脱炭素対策は必要になると思いますが、支援策（設置補助など）を考えた方が本市に立地するメリットを感じてもらえるのではと思います。</p> <p>以上、思いつくままのコメントです。</p>	<p>太陽光パネルにより、スポーツ施設の雨除けや日陰にもなるというところはまさに地域と再エネ事業が共生し、地域のメリットになっている姿ですので、このような地域貢献する事業の推進を目指していきます。</p> <p>支援策については、環境省をはじめとする国の支援策を中心に、企業のメリットを感じていただける方法を検討していきます。</p>